

平成16年3月17日  
株式会社 新生銀行  
(コード番号:8303)

## 役務にかかる債権を含むショッピングクレジット債権の証券化について

～国内私募債 200 億円、新生セールスファイナンス・ワン特定目的会社が発行～

新生銀行はこのたび、100%子会社の新生セールスファイナンス(株)が保有するショッピングクレジット(個品割賦)債権の証券化(発行総額200億円)を行います。本件証券化の裏付け債権には、物品購入にかかる債権のほか役務にかかる債権が含まれます。役務にかかる債権を含む証券化はわが国では初めてとなります。

本件は、本年2月に帝人ファイナンス(株)のショッピングクレジット事業を譲り受けてスタートした新生セールスファイナンス(株)が保有しているショッピングクレジット債権を証券化し、国内私募債として機関投資家及び事業法人に販売するものです。対象債権は、同社がオリジネートし保有していた元本相当額約215億円の割賦債権です。

本件では、新生銀行が案件の組成を行い、原債権の回収には新生セールスファイナンス(株)があたります。債券は、ムーディーズから格付を取得した上で、国内私募債として新生証券(株)が機関投資家及び事業法人向けに販売いたします。債券は予定償還日に応じて9つの回号に分かれますが、全ての債券に Aaa の格付を取得する予定です。裏付資産の良好なパフォーマンスに支えられ、Aaa 取得のための信用補完の割合は、約 14.2%と算定されました。

ショッピングクレジット債権の証券化は、物品購入にかかる債権については既にわが国でも行われておりますが、役務にかかる債権は中途解約等のリスクが十分に分析されていなかったことから、従来は証券化は困難と考えられてきました。当行は、役務にかかる債権について、ヒストリカルなデータ分析や、原契約に立ち戻った法的検証を行い、適格基準を債権実行から1年経過した債権とするなどの新しいアプローチにより役務にかかる債権を含むショッピングクレジット債権の証券化を初めて可能としたものです。

### 発行債券の概要

|             |  |
|-------------|--|
| 発行体:        | 新生セールスファイナンス・ワン特定目的会社                          |
| 発行形態:       | 国内少人数限定私募社債(A～H号社債)、<br>及び、適格機関投資家限定私募社債(Z号社債) |
| 発行総額:       | 200億円(予定)                                      |
| クローリング日:    | 2004年3月30日(予定)                                 |
| 予定償還日:      | A号社債2004年6月23日乃至、Z号社債2007年9月25日                |
| 法定最終償還期日:   | 2009年2月末日                                      |
| アレンジャー:     | 株式会社新生銀行                                       |
| 委託者/サービス:   | 新生セールスファイナンス株式会社                               |
| 受託者:        | 新生信託銀行株式会社                                     |
| バックアップサービス: | 新生信託銀行株式会社                                     |
| 社債管理会社:     | 株式会社新生銀行                                       |
| 私募の取扱者:     | 新生証券株式会社                                       |

なお、この資料は、証券の購入などを勧誘・勧奨するものではありません。

以上